



世帯数	64,324 世帯	（41 世帯増）
人口	131,124 人	（30 人減）
（男）	65,846 人	（25 人減）
（女）	65,278 人	（5 人減）



△《ナポリの老婆A》油彩／カンヴァス 1924年

小島善太郎（1892～1984年）は、1930年協会（1926年設立）や独立美術協会（1930年設立）といった、日本洋画史を彩る団体の設立会員として名を連ねた洋画家です。また、生誕の地は現在の新宿区ですが、フランス留学後は八王子市や日野市に長く居住したことから、多摩地域ともゆかりが深い画家です。青梅市との関係では、地元の青梅美術協会の絵画指導に長年携わり、そうした経緯が青梅市立美術館設立の契機のひとつにもなりました。

本展では小島の生誕130年を記念し、所蔵する作品のうち55点を①画家への歩み②留学後の成果③人物④風景⑤静物⑥裸婦⑦喫茶店ピーコックの元壁画の7つの章に分けて紹介します。

会期・時間 2月11日（祝）～3月27日（日） 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日 ※3月21日（祝）は開館し、翌22日（火）は休館

主催・会場 青梅市立美術館

観覧料 大人200円、小・中学生50円

※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人（障害者手帳を提示）は無料

※市内在住の65才以上の方（免許証、保険証など住所と生年月日の分かるものを提示）は無料

※市内の小・中学生は土・日曜日、祝日は無料

※青梅市吉川英治記念館との共通観覧券（大人600円、小・中学生200円）を販売しています。

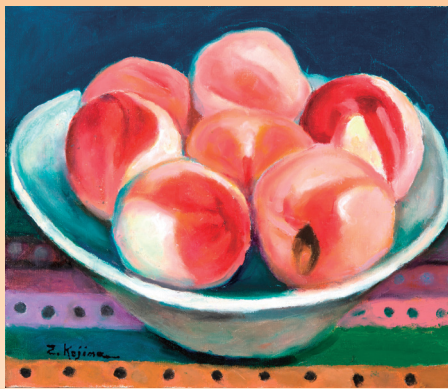
その他

▷新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、会期中のギャラリーガイド等の開催はありません。

▷展示替え等のため、2月10日（木）まで臨時休館となります。

問い合わせ 青梅市立美術館 ☎ 24-1195

館蔵企画展
「生誕130年 小島善太郎展」
2月11日（祝）～3月27日（日）
青梅市立美術館



△《明朝皿の桃》油彩／カンヴァス 1980年



△《明治時代の娘》油彩／カンヴァス 1911年



△《孔雀（左）》油彩／カンヴァス 1958年



△《奥多摩秋景》油彩／カンヴァス 1983年

現在、まん延防止等重点措置が適用されています。市主催事業等は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって変更・中止になる場合があります。詳細は市ホームページをご覧ください。